

対象疾患	クローン病
使用する治験薬	upadacitinib（JAK 阻害剤）〈経口薬〉
治験デザイン	<p>第Ⅲ相試験</p> <p>A 群：upadacitinib</p> <p>B 群：プラセボ</p> <p>※ 医師や患者さんがどの群の治療を受けるかは選択できませんが、A 群、B 群いずれかの治療を受けることになります。ただしプラセボに当たって効果が認められなかった場合、そのあとで実薬の投与を受けることができます。</p> <p>※ 「プラセボ」とは、治験薬と色や形が同じですが、有効成分は入っていません。プラセボと治験薬をそれぞれ使って、治験薬による効果と、プラセボを飲んだことによる心理的な効果を比べて、治験薬が本当に有効なものかを客観的に評価します。</p>
参加いただける患者さんの条件	<p>以下の条件を満たす方が対象となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 文書により同意できる 2) 18 歳以上、75 歳以下の男性又は女性 3) 活動性クローン病と診断されている方 4) これまでに副腎皮質ステロイド、免疫調節薬に対して、効果不十分、もしくは不耐容が認められた方 5) 生物学的製剤を使用している場合、効果不十分、もしくは不耐容が認められた方 6) 女性において、治験期間中に避妊を継続することができる方 <p>※ 上記の条件は概要であり、これらに該当していても参加できないことがあります。</p>
治験責任医師	消化器内科 北村 和哉
治験依頼者	アツヴィ合同会社
備考(企業 HP 等)	